



にっしょう  
**日商だより**

☆第83号☆  
令和2年1月

■■■この「日商だより」は、私たちと何かのご縁があった方々に、差し上げている通信誌です。■■■

◆平成から令和へ◆

新年明けましておめでとうございます。

昭和から平成へ、そして平成から令和へと年号が変わり、令和になって初めての新年を迎えました。

昨年はラグビーの世界選手権が日本で初めて開催され日本が初めてベスト8に輝き日本中が沸き立ちました。また今年は東京オリンピックが開催されるので大いに楽しみであります。

昨年当社は創業50年を迎え、新しい次の50年に向かって進んで行きますが、昭和40年代初期の機械式手廻し計算機の時代から画期的な電子式計算機が発売され、新製品やスーパーなどの新業態の産業構造の変化によって日本は高度成長の波に乗って発展しました。

その間、オイルショックやドルショックといった景気の波がありましたが、それでも日本は世界の中で大躍進を遂げました。その後バブルがはじけ、リーマンショック等で日本の成長はすっかり鈍化し、世界経済から取り残されてしまったようです。

私たちの携わったOA機器業界も白黒感熱式の複写機から普通上複写機へ、そして画期的なカラーコピーが普及し写りも機能も良くなりビジネス社会に無くてはならない物となりました。

アナログ時代からデジタルへ、そしてAIへと変化していきます。過去の事はともかくこれからの私達の10年、20年先は予測はつきませんが、いつの時代でも企業はお客様の立場・目線で物事を考え、世の中で何が求められているか追求し単純に商品の価格だけでなく金額以外の価値観やノウハウによってお客様に認められ、時代の変化に対応していく事が出来れば会社は存続し成長していけるように努力していきたいものです。

今年がお客様と社員にとって善き年でありますように願っております。

本年も何卒宜しく願い申し上げます。

会長 後藤 武

## ◆3カ年計画の始まり◆

日商器材では、複合機やパソコン、ネットワークなど事務所で使用する事務機器が得意で、主力商品はキヤノン製品の販売・メンテナンスになります。

毎年、メーカーと進捗確認会議をしており、今年は3カ年計画の始まりの年になります。

3カ年計画で合意したことは、

『桑名エリア事務機 No.1 販売店～お客様にとって頼りにしてもらえる会社にする～』

をスローガンに、個別目標を立てました。

財務の視点として・・・「2023年までにオフィス MFP 保守台数 500 台を達成する」

顧客の視点として・・・「顧客の企業価値向上をサポートする」

業務の視点として・・・「ワンストップでのサポート体制を構築する」

学習と成長の視点として・・・「若手営業の育成を強化する・サービスマンの提案力を強化する」

営業部のメンバーや、サービスのメンバーの頑張りにより、日商器材とお取引させて頂いているお客様がここ3年で増えています。

お客様への対応を迅速・的確に実行し、満足頂ける対応ができる会社になるため今年も頑張っていきたいと思っております。

代表取締役 後藤 渉

### 【発行者プロフィール】

日商器材株式会社 代表取締役 後藤 渉 (ごとう わたる)

◆生年月日: 昭和51年5月6日生まれ ◆出身地: 三重県桑名市

◆経歴: 精義小学校→陵成中学校→川越高校→中京大学経済学部  
→キヤノンマーケティングジャパン(株)(旧・キヤノン販売(株))→日商器材(株)

◆趣味: 写真(主に一眼レフで撮る写真ですが動画も好きです。)



後藤 渉

### 【発行元】

OA機器・複写 情報サービス・測量機  
**NSK 日商器材株式会社**

〒511-0068 三重県桑名市中央町2-26

**TEL: 0594-21-2600**

**FAX: 0594-21-2685**

※お気軽にお問い合わせください!

